

(様式第 4号)

武石地域協議会 会議概要

1	審議会名	武石地域協議会		
2	日 時	平成 20年 7月 29日 午後 7時 00分から午後 8時 20分まで		
3	会 場	武石地域自治センター 2階会議室		
4	出席者	新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、高田忍委員、滝澤由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、曲尾行雄委員、増子カオリ委員、松代典之委員、依田せつ子委員、依田則俊委員 (欠席者 2名)		
5	市側出席者	宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、伊藤健康福祉課長、近藤産業課長、桜井建設課長、児玉教育事務所長、児玉地域政策担当係長、掛川主事		
6	公開・非公開等の別	公開		
7	傍聴者	0人	記者	0人
8	会議概要作成年月日	20年 8月 6日	作成部局課名	武石地域自治センター 地域振興課
協 議 事 項 等				
1	開会 (広川課長)			
2	会長あいさつ (桜井会長)			
3	センター長あいさつ (宮下センター長) ・上下水道料金が平成 21年 4月から統一される。合併後も旧市町村の料金で算定されていたが、来年 4月からは統一料金とする。詳細については、8月の地域協議会で上下水道局から説明がある。 ・投票所が見直され、今年 9月以降に実施の選挙では、旧第 2・3投票所は武石公民館で投票することになる。また、期日前投票は、各地域自治センターで投票日の 7日前からできるようになる。(国・県の選挙)			
4	意見書の回答について (事務局) プレゼンテーションを行った 4事業 (一理花桃の里・余里自治会整備事業、ヒカリ苔輝く美ヶ原登山道整備事業、武石早起き野球連盟 40周年記念！ 100周年以上まで続くように将来の会員を育てようプロジェクト、「見よ美しの歌」伝承・文化交流事業) とも採択となった。すでに事業にとりかかっている団体もある。			
5	協議事項 (1) 実施計画について (武石地域自治センター各担当課から説明) 【説明要旨】 ・武石地域実施計画登載予定事業 (事業費 50,000千円以上、地域独自事業) ① 県営中産間地域総合整備事業 (用水路、排水路整備) ② 市道上武石沖線道路整備事業 (下沖信号交差点～市之瀬バイパス交差点、全長 4.5km) ③ 市道小沢根線道路整備事業 (全長 5.0km) ④ 子育て支援拠点施設建設事業 (武石児童館建設、H20既存建物解体・設計・調査、H21建設) ⑤ 屋内運動場改築事業 (武石小学校体育館建設、H20既存建物解体、H21設計・調査、H22建設) ⑥ 民俗芸能保存事業 (おねり保存会への補助金) 【質疑・意見】 (委員) 道路整備は、実施計画以外にも整備箇所があるかと思うが、今後の計画はどうか。下水道工事後の舗装の整備が進んでいないという声も聞くが、自治会から要望が出なければ整備はしないのか。そういうところへ地域予算を使ってもよいということであれば、それを使ってなるべく早めに整備したほうがよいのではないか。			

(建設課) 下水道工事後の舗装のやり直しが残っている箇所はあるが、土木費単独枠予算で順次対応したいと考えている。自治会からの道路整備に関する要望もそれほど多くはない。

(センター次長) 武石地域では、辺地の指定を受けているところがあり、指定地域では、生活環境の改善に対して手厚い補助を受けられるという制度が利用できる。そういう制度を利用して道路整備事業を進めていきたい。

(委員) おねり行列の関係で、子どもが参加するときにこれから若い世代では江戸俵を持っているお宅もなくなってくると思う。寄付のお願いやその管理も考えてもらわなければいけないのではないかな。

(教育事務所) 今後の対応については、おねり保存会と相談しながら考えていきたい。

(委員) 沖自治会の歩道の設置は、長年の要望事項であるがいつやってもらえるのか。設置してもらえないのであれば、歩道部分に色を塗るなどしてほしい。

(建設課) 今の歩道の基準や環境では、歩道の設置は難しい。歩道部分のペイントも今後考えていく。

(委員) 中学校の懇談会で通学路の問題が出た。沖の通学路の他に、七ヶ・藪合自治会の通学路にも危険な箇所があり、特に中学生の通学時間に歩道の雪かきをしていないところがある。

(委員) よく国道で道路清掃をやっているが、国道 152 号線の下沖信号から長和町までの間はまったくやっておらず、泥等がかなりたまっている。

(委員) 沖自治会では、下沖信号付近の植え込みを月 1 回程度ボランティアで管理しているが、自治会での管理になるのか。

(建設課) 国道の道路清掃は、必要であれば建設事務所に要望していく。植え込みの管理については、安全確保をしっかりといただき、今後もボランティアでお願いしたい。

(2) 地域振興基金について (地域振興課説明)

【説明要旨】

・ 地域予算 持寄基金充当事業検討案

- ① 武石地域住民温泉利用補助事業 (うつくしの湯、雲溪荘利用補助): 激変緩和
- ② 土地改良事業負担金 (頭首工改修等の負担金の軽減): 激変緩和
- ③ 武石地域住民スキーリフト補助事業 (リフト利用補助): 激変緩和
- ④ 御柱祭おねり行列保存事業 (平成 21、27 年度)
- ⑤ 武石児童館建設地既存建物解体事業 (旧 JA 選果場)

【質疑・意見】

(会長) 地域振興基金については、分科会において 10 月の地域協議会開催までに検討してもらいたい。

(委員) 合併協議では、地域協議会で決定したものに対して基金を使えるとなっていたと思う。私たちが地域協議会で協議して決めたものに対して、基金が使えると考えていた。行政が提案したものを、私たち地域協議会は承認するだけなのか。

(センター長) 地域協議会の意見は、最大限生かさなければいけないが、基金も公共のお金であり、行政の予算を立てるうえでの原則は守っていただかなければいけない。

(会長) 地域協議会には、予算を要求していく権限はないが、地域協議会として意見を上げていくことはできる。協議会として意見をまとめて、行政へあげていきたいと思っている。

6 その他

- ・ わがまち魅力アップ応援事業の二次募集について

広報うえだ 8 月 1 日号に応募について掲載。8 月 1 日～26 日まで応募を募る。

- ・ まちづくり講演会について

8 月 23 日 (土) 丸子文化会館で開催。地域協議会委員の皆さんには、積極的に参加してもらいたい。

7 閉会 (小山副会長)

* 会議概要は原則として公開します。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。